

～新型コロナウイルス対策に係る今後の診療体制について～

現在医療機関では、マスクや手袋（グローブ）、消毒用アルコール等の医療物資の確保が引き続き困難な状況です。

特に手袋（グローブ）の医療現場への供給がひっ迫しております。

また、当医院では、以下の点について徹底した感染予防策を講じてまいります。

- 1、 待合室でのソーシャルディスタンスの確保（5人の人数制限）、手指の消毒
- 2、 常時換気
- 3、 患者様への診察前の検温、含嗽剤によるうがいのお願い
- 4、 診療終了後の患者さん毎のチェアの消毒
- 5、 業務用院内空気清浄機によるエアロゾルへの対策
- 6、 新たにガス滅菌機を導入してより徹底した滅菌環境の構築

これからも、考えられる感染予防策があればまた、新たな体制を講じてまいります。

※上記これらの事を重要視して今後も患者様の治療に専念してまいります。

しかしながら、万が一、手袋（グローブ）の供給が追いつかない場合は医療物資の確保のため診療時間の短縮、または休診をさせていただく場合がございます。

患者様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします

医療法人社団 将医会 理事長 柴田将臣

令和2年 5月7日現在